

「地域を愛し、自分で考え 自分で行動する子ども」を育てる コミュニティ・スクール 通信



令和5年度 第5号 2月28日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博

「9年生を送る会」で9年生が圧巻の合唱

2月26日(月)に「9年生を送る会」が行われました。これまでコロナの影響で中止になったり、オンラインになったりしましたが、4年ぶりに5年生から9年生までの児童生徒と地域の方々や保護者が集って本来の形で実施することができました。

この行事は、卒業間近な9年生に、学園の小学1年生から中学8年生の児童生徒たちが感謝の気持ちを伝える行事です。一方、9年生にとっては、モデルとしての姿を示し、後輩たちにバトンを渡すための行事です。

プログラムは、西小、東小1～4年生からのビデオメッセージ、5年生、6年生の合同合唱、7年生、8年生、9年生合唱、そして生徒会役員からのメッセージでした。

東小の6年生はバスでまず西小体育館に移動し、西小の6年生と一緒に中学校の校舎や授業の様子を見学しました。東小の5年生もバスで西小に集合し、西小児童と持参した弁当を食べ、体育館で合同の練習をしました。5、6年生はそれぞれの学校で練習を重ねていましたが、合同で練習する機会は初めてでした。練習でも本番でも心をつにして、美しいハーモニーで歌い、感謝の気持ちを伝えました。

続く7年生、8年生も安定した歌声で、9年生への感謝の思いを込めて美しく合唱しました。

そして最後は9年生の合唱。女子の澄んだ高い歌声と男子の力強くも美しい歌声の響きは、「さすが、学園のモデル」と感じさせる素晴らしさがありました。

小学5、6年生は直接中学生の合唱を聞いて一人一人の表情と美しいハーモニーに圧倒されていました。会場の保護者や地域の方々からも、「やはり9年生は違う」「全身で感動した」という声が聞かれました。

卒業を目の前にして、学園の最上級生が合唱やメッセージを通して感謝され、一方でリーダーとしてのあるべき姿を示す「9年生を送る会」のすばらしさをあらためて感じました。

